



### 同窓会会員の皆様へ

同窓会会長 天ヶ谷 勉



輝かしい二十一世紀を迎え、同窓会員の皆様には、益々ご健

勝にて各方面でご活躍のことと思  
います。又日頃より同窓会事業に  
対しましてご理解とご協力を賜り  
厚く御礼申し上げます。

今年七月が猛暑で、八月に入  
ると北冷西暑、及び世界的な異常  
気象による地球温暖化がさらに進  
んでいる。日本でも桜の開花が  
かなり早くなり、生態系に異常が起  
きている。一方世界同時不況によ  
る景気の低迷、株価下落、IT  
(情報技術)バブルの崩壊等による  
企業の大規模なリストラクチャー  
ング(事業再構築)に拍車がかかっ  
ている。

さて、同窓会事業の主な目的と  
しては、「会員相互の親睦を厚く

し、母校の繁栄に寄与する」と

あります。母校の繁栄に寄与する  
ことにつきましては、創立三十周  
年事業への寄贈もありましたが、  
クラブ助成金、又部活動における  
上部大会出場の助成金等援助して  
います。ところでここ数年の母校  
のクラブ活動は目ざましい活躍を  
しています。陸上部、バスケット  
部、無線部、ロボット競技、家庭  
科同好会等々、文武両道をまさに  
両立させていることに敬意を表し  
たいと思います。又野球部は、こ  
の夏の甲子園出場をかけた群馬県  
大会の決勝まで進んだ。十八年振  
りの甲子園出場の夢はおしくも破  
れたが、後輩達の活躍に拍手を送  
りたい。

もう一つの会員相互の親睦を厚  
くすることについては、同窓会報  
があります。今年に記念すべき第  
三十号を発行することができまし  
た。これも、学校関係の方々、会  
員皆様のたゆまないご支援の賜物  
と感謝申し上げます。会報につき  
ましては、常任幹事会でも討議し、

出席者皆様の忌憚のないご意見を  
お聞きし、本部役員で最終結論を  
出しました。それは毎年発行から  
三年毎にするというもので、次回  
は平成十六年の予定となります。  
その後はさらに検討を加えていき  
たいと考えています。

最後になりましたが、母校の繁  
栄と同窓会発展のため、本部役員  
一同鋭意努力してまいりますの  
で、会員の皆様にはなお一層のご  
支援とご協力をお願いしましてご  
挨拶といたします。

### 十八年振りに

### 燃えた太工

校長 尾池 康雄



猛暑続きだった  
この夏も、道端の  
草花の実りを見る  
につけ、秋の訪れ  
を感じる季節となりました。

同窓会会員の皆様には、益々ご  
健勝のこととお慶び申し上げます。  
日頃より母校の発展・充実に、  
惜しみないご支援を賜りますこと  
に、心より感謝申し上げます。

まず、本校の現状ですが、内ヶ  
島から茂木町に移転して十二年、  
広々とした田園の中にお城のよう  
にポツンと建った学校も、日々周

辺に住宅や市の公共施設ができ、  
次第に潤いのある環境へと変貌し  
つつあります。開校以来四十年に  
ならんとしていますが、工業高校  
を取り巻く状況は国際化や情報  
化、少子化など急激な社会変化に  
伴い、産業界や地域の方々からの  
期待もやや変化しつつあります。

「地域の信頼なくして学校の存  
立はない」を合い言葉に、教職  
員・生徒一丸となって学校の改革  
に取り組んでいるところです。

さて、生徒の活躍ぶりについて  
紹介します。夏の高校野球群馬大  
会は猛暑の中、一回戦桐工から前  
商、樹徳、館高に勝ち、準決勝で  
は伝統校の桐高を4...1で下し、  
決勝まで進みました。惜しくも前  
工に敗れましたが、十八年振りに  
在校生・保護者・同窓生、地域の  
人々に大きな期待と夢を与えてく  
れました。またバスケット部は春  
の関東大会へ初出場を果たし、県  
内では常に上位へ名を連ねるまで  
になり、また陸上部は毎年関東大  
会、インターハイへの出場を果た  
しています。サッカー、バレーな  
ど他の部も伸び盛りにあります。  
運動部以外でも家庭科同好会が  
クッキング大会で好成績を上げ、  
また工業科の「ものづくり」は相  
撲ロボットやアイデアロボット



が県産業教育フェアで上位を独占し、全国大会では科学技術長官賞を受賞するなど大活躍をしていますが、資格取得などに於いても、先輩方の築いた太工魂を受け継ぎ、一生懸命にがんばっています。

小泉首相の「聖域なき構造改革」の進められる中、産業構造や社会システムがどう変わるか、多少の痛みを覚悟しながら活力ある二十一世紀の社会構築へ期待をしたいものです。どうか同窓会員の皆様、健康に十分留意され活躍ください。ます様ご祈念申し上げます。

### 太田工業高校に着任して

教頭 飯塚 正弘



太田工業高校同窓会会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。平素より母校の発展・充実のために惜しみないご支援をいただき心より感謝申し上げます。

この度、平成十二年度末の人事異動により、太田女子高校より太田工業高校の教頭としてお世話になることになりました。過去の教

職経験にはない初めての工業高校着任に戸惑いと新しい経験の日々です。

二十一世紀を迎え、今、世の中では、不況の出口が見つからず、構造改革をどう実行し、不良債券処理、道路特定財源や特殊法人の改革、そして、求人難、失業者対策等の解決をいかにするか迫られております。そんな世の中にもめげずに母校の後輩たちの活躍が光ります。まず、工業科の、相撲・アイディアロボットは県大会で優勝し、相撲ロボットは全国高校生大会に四台、社会人を含めた全日本大会に三台出場し、高校生の部では、科学技術長官賞を受賞しております(平成十二年度)。次に部活動では、家庭科同好会が青春クッキング大賞を受賞し(平成十二年度)、映画研究部が制作した作品が群馬県代表としてNHKの全国コンクールに初参加しました。運動部では群馬県高校総合体育大会ではバスケットボール部が準優勝し関東大会に初出場し、陸上部はここ数年関東大会、全国大会に連続して出場しており県下に太田工業高校ありという実績を残しております。最後に野球部の活躍を紹介いたします。すでに新聞等でご存知であろうと思いますが、第三十八

回全国高等学校野球選手権群馬大会において並居る強豪を相手に勝ち続けて決勝に進出、太工の快進撃に十八年振り二度目の甲子園大会出場を目の前にして、前工に惜敗しました。一回戦、二回戦と勝ち進むにつれて卒業生の応援の数も増えていき、決勝戦では多くの同窓会会員が現役の後輩達と一体となって必死の応援を繰り広げてくれました。まさに、太田工業高校を誇りに思う卒業生の姿を見ることができました。

有史以来ここ五十年の世の中の変化はまさに光の速さで進んでいるといわれています。しかし、世の中が変わっても変わらないものがあります。それは、人作りともの作りです。不況の時代だからこそ、原点に戻ってこれらのことを大切にしたいものです。



### 同窓会報によせて

#### 『雑感』

第五C 高橋 正雄

原稿依頼を頂き最初に思いましたのは同窓会が何期かわからなかったことでした。同窓会報も先輩に見せて頂き確認しました。

同窓会報は第二十九号が発行されていまして三十一年が経過してしまいました。勉強が好きでなかった、学生時代は時間が長く感じられた記憶があります。苦しくもあつた三年間であつた。

縁あつて現在のアキレス(株)へ就職致しました。当部門は静電気対策品を販売・生産しています。当社の宣伝で恐縮ですが、『STポリ』という商品名で、電気メーカーさんへ部材を供給しています。この商品はプラスチックに導電性を持たせた物性で一昨年ノーベル賞しました白川先生の理論を応用しました商品で年間の売上高の伸びも顕著で有ります。

小生はこの部門の管理課資材係を拝命しています。三部制の職場の為材料の供給を止めることは、厳命されています。厳しい世相を受けて在庫品の圧縮、購入価格の引き下げ交渉等が日々の業務にな



ります。

地域社会での活動も一方では、協力をして活発化を計るべく、コミニケーションを取る様に心掛けています。町内の総会の出席、ふるさと祭りの参加（御輿渡御の推進会の役員）町民運動会の競技参加等で有ります。

不況の昨今で厳しい時ですが仕事とともに地域活動に元気を出して頑張りましょう。

最後に太田工業高校の限りない発展と同窓会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

## 二〇〇一年の夏

六M 糸井 優

私が太田工業に入学したのは、経済成長の最中の昭和四十一年のことでした。合格の知らせを受け、夜学で学べることを小躍りして喜んだのが昨日の事のようにです。開設まもないこともあり、先生方は熱心に、厳しく、そして暖かく指導してくださいました。友人にも恵まれ、多くの思い出を刻み込んだ高校生活でした。現在、多くの友人たちとも疎遠になつてしまつていますが同窓会での再会を楽しみにしております。



卒業後は、設計の仕事がたくて、お世話になつた坂本工業を辞して、現在の旭産業に入社して、以来開発設計業務に従事してきました。現在は、環境機器製品の開発を手がけております。設計業務をここまでやってこられたのも、太田工業で学べた多くの知識があつたこと。私たちに對して熱心に指導して下さつた先生方には大変感謝しております。

仕事以外では、小さいときからの夢であつた画家の入り口に立てた事があります。今年で二十年になります。一昨年は念願の初の個展を新田町で開催でき、同級生や先生方、多くの方にお会いできたことが良かったと思います。個

展が多くの方との交流の場になれば幸いと考へております。また、機会があれば、描き溜めていた物で、個展を企画しようと思つています。

現在は一線展や県展を中心に発表しており、画題は、瓶を中心とした静物や、子供たちをテーマにした人物などを追いかけています。今は、秋の一線展に向けて「二〇〇一年の夏」F一〇〇号の仕上げに入つています。この会報が発刊される頃には都立美術館での一線展が開催されています。

いつかどこかの町で皆さんとお会いできる事を楽しみにしております。同窓会会員の皆様のご健勝を祈念して文筆整いませんが筆をおかせていただきます。

## 国際化社会の中で

六期電気科 安野 明

現在、日本を取り巻く国内外の環境は非常に厳しい局面に向かつています。昨今の政治経済問題に始まり、方や国内では公金横領等、政治腐敗に纏わる様々な諸問題が新聞紙上を賑わしているのを皆さんもメディアを通して嫌でも耳に入つていくものと思ひます。

財務官僚等による接待・天下り等に端を発したこれらの諸問題は今に始まつたことではないものと思ひます。

個人のモラルに限らず、各省内での皆でやれば怖くないの考へがこうして政治腐敗を蔓延させているのではないかと思ひてなりません。

また、外に目を向けますと、先の大戦の戦争責任問題に絡んだ賠償、教科書、神社参拝問題等数限りなく日本社会へ厳しい目が向けられており、文字通り個人も含め一挙止一動が注目されているのが、今の日本の現実の姿であると思ひます。

私も母校を卒業して三十年という月日が経過する訳であります。その後はどちらかというと平凡凡と社会の流れる俣に時を過ぎてきた感が多分にあります。が、これまでの社会人生活において様々な社会的な試練があつたように思ひます。

オイルショックに始まり、高度成長バブルの崩壊、そして低成長時代への突入等日本経済を取り巻く環境は平坦では有りません。

失業者は5%時代を迎え、企業では、リストラクチュアリングの話ばかりが先行し生き残りを掛け



た大競争時代になっております。また、在校生には、頭の痛い話かも知れませんが有効求人倍率が極端に減少するなど日本の構造不況そのものから脱皮する手立てが見つかからないほど低迷しているのが現実だと思えます。

NPO、NGO等国际社会に通用すべく日本でもこういった横文字の言葉が叫ばれて久しい訳ですが、経済成長があつてこそこれらの団体の活躍が生かされていくのではないかと思つております。

私は、これらの団体の一員では有りませんが、今のマイナス成長時代を早く抜け出し少しの痛みと官民一体でのスピードある取り組みに期待し、世の中が早くよくなれと切実に願つております。

## 恩師の定年に思うこと

四期機械科 沼田善功

母校が創立して四十年、卒業して三十四年、我が母校の同窓会報も発行の曲がり角に来ている様ですが、それはそれとして、表題の件で今回私にペンを取る機会が巡ってきたわけですが、先ず申し上げたいのは、私と言うよりも我々機械科四期生は太田工業高校の卒

業の前に機械科四期生として拘り、常にその行動を取ってきたよくな気がします。何故ならば我々が入学した昭和四十年に遡るのではないかと思つて。

A組担任横山喜紀先生、B組担任の茂木英二先生、茂木先生も既に教職を退任され奥様と仲良く毎日過ごされております。それから、横山先生も今年教壇を去りました。この間、機械科四期生の同窓会は二年置きに開催してきましたが、両恩師共に必ずと言ってても良いほど出席して頂きました。

思えば昭和五十八年の夏、太田野球部の甲子園初出場に際しても寄付集め並びに甲子園球場の応援に機械科四期魂を遺憾なく發揮したものです。乞う言つた一連の団結力と言うか連携プレーは、我々を真剣に支えてくれた恩師の心意気が自然に染み込んでいたのではないだろうか。この時を切つ掛けに独自の機械科四期生だけの同窓会名簿を作成して幹事が申し送りとして管理している。

我々機械科四期生一〇三名は一人の脱落者もなく昭和四十三年三月九日卒業しましたが、残念ながら既に五名が他界しました。

今年四月に全員ではありませんが有志で恩師の慰労会を催し、奥

様にも出席して頂き心行くまで飲み、恩師というよりも、これから人生の先輩、後輩としての御付き合いが続くのではないかと思つようになりました。とかく卒業するとクラス同窓会すら開いていないと耳にすることもありますが、我々と両恩師の御付き合いは相変わらず続くものと思つております。

同窓会として全体的な活動も大切とは思いますが、今風に表現して中央政治と地方分権に当て嵌めれば、我々機械科四期生は地方であつてもミニ同窓会として機能を果たしているのでは。個人の気持ちの持ち方ではないでしょうか。私も物書きではないので限られたスペースで物事を表現するこの難しさを今回経験しましたが、一期生を始めとして、あと数年で定年を迎える訳ですが、こちらで人生の節目として区切りを付け、今までの人生を振り返ってみるべきではないかと、恩師が教壇を去られた今年、ふと思つてみました。皆さんは、如何でしょうか。

## 次世代産業に向けて

二二二C 小林重昭

『太田工業対前橋工業』十八年前の夏と同じ組み合わせで行われた決勝戦。その年に入学した私はまさか甲子園へ行くことになるとは思ひもしなかつたので応援にも行かずアルバイトに精を出していたように思います。今更ながら優勝の場に居合わせなかつた事を本当に悔やんでいます。そんな思いを吹き飛ばしてくれるかの様な今年の決勝戦。しかしながら今回も数島球場に行くことができず、病院のベッドの上で点滴を受けながら応援をすることになっていました。といった具合であまり愛校精神を持ち合わせていないようなので野球の話は他の方にお譲りしましょう。

さて、今現在の私の仕事は『株式会社スタイリッシュ』と言うソフトウエア開発会社で代表を勤めさせていただいています。と言っても私以外には社員のいない零細企業ですが。

太田工業高校を卒業後、日本工学院専門学校情報処理科でコンピュータを学び、東京にあるソフト



ハウスに就職して二年程会社員生活を送った後、平成二年にスタイリッシュを設立しました。当時はまだバブル景気の余韻に浸っていたのであまりスキルのない会社であつてもそれなりに仕事は結構舞込んできました。国際証券で外国証券売買管理、「ほくさん」で販売管理、鬼怒川ゴムで社内ネットワークの構築、NITで顧客スタッフの一員として日本国内全体で行われている次期システムの管制センターのコントローラーなどメジャーな企業で技術を磨くことができました。しかし時代の流れとともにシステムの在り方も変化していきます。今ではごく普通に誰もが家庭や会社でインターネットへ接続を行い様々な情報を入手し、ショッピングを行ったり、または情報交換の場としてあたりまえのように活用していることでしょう。今後日本中の中心になるであろうIT業界はまだまだ発展途上です。インターネットや携帯電話を絡めてどのように発展をしていくのか、次々に確立されていく新しい技術を常に取り入れて行かなければ直ぐに取り残されてしまいます。それは社会のみならず教育機関であつても変わりはないでしょう。太田工業高校の地域産業

界における役割は大変大きなものがあります。在校生の皆さんも常に新しい物に目を向け興味を持って取り組んでいって下さい。

### 質問してもいいですか？

十四期C 工藤 孝俊

本部で会計をしている工藤です。今回は同窓生に質問をしました！

今回、協力（特別ゲスト）していただいたのは、十一期Mの金谷光明さんと、十二期Cの矢口精一さんです。

### 工藤

金谷さん、矢口さんの二人には、子供が沢野小学校で同じ学童野球チームの沢野フレッシュヤーズ（今期、太田市で優勝候補のうわさがあるとか…）でお世話になつていて、いつもありがとうございます。ございます。

さて、最初の質問ですが、母校を思い出すのはどんな時ですか。

### 金谷さん

やはり、高校野球を主に、スポーツ関係ですね。情報が入り易いからです。

### 矢口さん

私も、高校では野球部に在籍し

ていたこともあり、高校野球は気になります。今年も夏の大会は見に行きましたよ。甲子園まであと一歩でした。又、室内練習場も立派ですね。

### 工藤

やはり、情報を伝えることが大切みたいです。今の時代は情報の伝達手段がたくさんあるので、上手に利用したいですね。次の質問ですが、子供の縁で親しくさせていただいていますか？子供への夢はなんですか？

### 金谷さん

プロ野球選手、でも親父の仕事も継いでほしいですね。

### 矢口さん

太田工業高校に入って甲子園に行かせたい。

### 工藤

金谷さんは、太田市福沢町で金谷商会（自動車修理、販売）を経営しています。矢口さんは、太田市岩瀬川町で矢口加工を経営しています。ほんの少し、宣伝しちやいました！

最後の質問ですが、もしも同窓会役員だったらどんなことをやりたいですか？

### 金谷さん

ゴルフコンペ、できれば温泉地で。何人参加できるかわからな

いけど…

### 矢口さん

私も、懇親会です。同学年にはたまに会うけど、違う学年の卒業生とも話をしてみたいです。

### 工藤

懇親会に女性もきますよ。情報課ができた最近は、女性が入学しているんです。私たちの頃は、男女共学なのに全然いませんでしたけど（笑）。

最後になりましたが、子供が学童野球チームに入り、初対面の父親がたくさんいる中で、おなじ太田工業高校の卒業生だとわかった時から、急に親しみやすく感じたことを覚えています。

今日は、お忙しいところ、ありがとうございました。



# 「暑い暑い」

三十三E 峰崎 将 和

時の経つのは早いもので、卒業し社会に出て五年の年月が流れました。私の卒業した当時も、不況の波の中にあり、就職難と騒がれていました。その波は年をおう毎に大きくなり、大きな企業さえも飲み込む程になりました。テレビのニュースや新聞にも、目立つ話題は暗い話。そんな中で、今年の夏は私達をうれしくさせてくれるニュースが一つありました。暑い

夏に行われる暑い戦い甲子園。群馬県大会にて我達が母校太田工業は決勝で惜しくも敗れ、準優勝。太工は十八年前に一度、甲子園出場を果たしています。その時は一回戦で無念の敗退。今年も実際はあまり感心を持って見てはいませんでした。休日におとテレビをつけたら太工が試合をしているじゃないですか。真剣に見入っているとなんと勝つてしまいました。その後はあれよあれよと勝ち進み、気が付けば準決勝。九回の裏でピッチャーが打球を足に受け、タンカで運ばれるというアクシデントもありましたが、なんとか勝ち進

み決勝へ。相手は前橋工業高校。この時点で私も太工の卒業生として久しぶりに熱くなっています。甲子園出場が十八年前なら、群馬県大会での決勝進出も十八年ぶり。仕事の都合上テレビは見られませんが、ここまできたら勝って夢の甲子園へと思っていました。結果は残念でしたが、去年までとは違う暑い夏でした。前工も甲子園の二回戦で敗れてしまいました。群馬の暑い夏は終わってしまいました。来年もまた暑い夏になるように、頑張れ太田工業!!

## 学校だより

職員異動 平成十三年四月

三浦 岳俊教頭 伊工へ  
 山岸 篤功先生 (英語) 大泉へ  
 綾部 勝久先生 (数学) 西邑楽へ  
 服部 好男先生 (事務) 太田へ

次の先生方は新任の先生です。

飯塚 正弘教頭 太女より  
 松嶋 隆広先生 (保体) 新採用  
 伊澤千代子先生 (英語) 桐女より  
 新島 一生先生 (数学) 新任  
 高畑 隆悦先生 (機械) 安中実より  
 中村 新一先生 (事務) 大泉北より  
 小澤 潔先生 (保体)

長い間ご苦勞様でした。

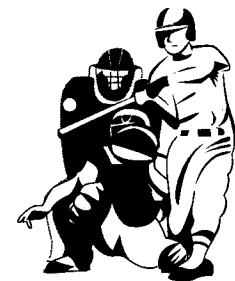
## 編集後記

夏前半の猛暑のなか、高校野球地区予選で汗を流して頑張っている後輩をみて、母校を思い出し、応援に熱がはりました。

同窓会員のみなさんのなかでも、球場に足を運んだり、テレビで応援したりしたことと思います。

母校では、他の部活も活躍しています。たまには、母校の空気に触れてみてはどうですか？後輩たちは、きつと挨拶をしてくれるはずです。

最後になりましたが、原稿を頂きました諸先生方をはじめとして、皆様に紙面をお借りして御礼申し上げます。(工藤 記)



## 平成12年度 進路状況および就職状況

### 1. 進路状況 (3/21現在)

3年生生徒数 229名 (男子222名 女子7名) ( )内は女子数

就職	希望状況 228名		内定・合格状況 222名	
	128 (5)	県内 120 (5) 県外 8	128 (5)	県内 118 (5) 県外 8
進学	100 (2)	四年制大学 33 (1) 短期大学 4 短期大学校 3 専門学校 51 (1) 産業技術専門学校 9	100 (2)	四年制大学 30 (1) 短期大学 4 短期大学校 3 専門学校 50 (1) 産業技術専門学校 9
未定	1			
進路未定者及び未決定者状況 (3/21)	7	四年制大学進学努力 3 専門学校進学努力 1 就職活動中 2 進路未定 1		

### 2. 進路志望の状況

平成12年度3年生の進路希望は、就職希望が128名(55.9%)、進学希望者は100名(43.7%)です。

	平成12年度	平成11年度	平成10年度	平成9年度	平成8年度
就職	128名(56%)	114名(54%)	120名(51%)	139名(55%)	158名(59%)
進学	100名(44%)	98名(46%)	116名(49%)	116名(45%)	111名(41%)